

香港華字日報

取閱可也	者請就地 向各代 派取閱 報館	省佛漢諸 君欲取閱 報館	文記信館 盧記信館 報館	佛記信館 源安信館 信館	澳門十六 甫四巷 羅少朋	榮陽街 玲信館 隆信館 少朋	○羊城
------	--------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------------	-----

光緒卅貳年歲次丙午伍月初貳日

第一萬三千零一號

荷 蘭 銀 行

(公 小 名 一)

啓者本銀行創自一千八百二十四年茲特於本
年三月一號開設來港本銀行收足資本俾英金
三百七拾伍萬磅另盈積肆拾一萬七千磅總行
在巷士達總寫字樓在八打威分枝於星架坡
能庇 上海 仰江 三吧冷 泗里歪 井里
汶 直葛 北加浪 吧士女安芝勝執 吧東
棉蘭 日里 吧忍綱 高打勝者(亞齊)
直落士馬至(亞齊) 振者馬申 ○並代
理在 孟加錫 孟士 哥林布 勿打刺士
本利查李 架刺吉打演角 西貢 海防 河
內 廈門 橫濱 神戶 美利寶 雪梨 島
約 舊金山 本行在南洋及英美各屬經開多
年專做買賣滙兌附搭生意茲將附銀處價列左
三個月週息四厘半算 六個月週息四厘算
三個月週息三厘半算 日息週式厘算
貴客 賜顧請移 玉到本辦房面商買賣價銀
交收銀兩務期妥善仰祈留意是荷
一千九百零六年 二月 廿六日 牙丹平

茲將香港附貯銀國息項列下
計開
三個月期週息式壹半算
六個月期週息三釐半算
十二個月期週息四釐算
總司理人士勿轉為
一千八百五十六年六月一號

三雲金李百雙烟廣
井龍星花合蝠仔告



啟者本行之官造最上等雲龍嘜金星嘜李花嘜百合嘜雙蝠嘜烟仔俱是揀選本國之上品烟葉製造曾經日本政府許為最上等之烟仔其味香而純有除痰辟瘴之功且合衛生久蒙各埠士商賜顧消流日廣近有無恥之徒假冒本行之雲龍嘜商標諸君光顧請為認真貨色嘜頭庶不致誤此佈

宣統元年



香港日商三井洋行謹啟

SCOTT'S EMULSION

司各脱

乳白鰵魚肝油滋補藥

司各脫係用最純潔之鰵魚肝油該油含有各種滋補性質并配和他種出名藥料精心炮製專醫一切喉症肺症胸膈等症血經諸病
嗽受寒等猶能補足元氣轉弱為強再司各脫滋補藥酪其味絕佳誠又柔和貴胃
醫藥料所以其白如乳其濃似酪故味甘適口殊令人覺之順堪下咽也

英京司各脫及幫公司謹識



Always get the Emulsion with the Man - the Fish - the Brand - the mark of the "Scott" Emulsion



英 國 倫 敦 嬰 道

霍近拿鐘表首飾遷行

萬國寶通銀行

啟者本銀行實備資本美國金錢銀壹千萬圓
總寫字樓在美國紐約華分行在英京 舊金山
墨西哥 小呂宋 架刺吉打 石叻
庇能 香港 廣州省城 宿務 上海 橫
濱 門地利 華盛頓 巴爾的摩 孟買等處
并設代理人於打刺士 仰光 暹羅
厦門 哥林布 漢口 天津 淡水 安南
西貢 及各埠 香港寫字樓在皇后大道中
門牌第九號如有滙兌附揭銀兩請移 玉至
本辦面商價錢格外相就本行開辦伊始未
在推廣生意仰祈留意是荷

○茲將附銀息價開列

六個月週息四釐半算 六個月週息三釐半算
三個月週息三釐算 日息週息式釐算
英一千九百零三年 五月 廿八號

萬國寶通銀行謹啟

光緒廿九年

列左
一個月期週息三釐算
六個月期週息四釐算
九個月期週息三釐算
日息週息式釐算
正月 廿五日
香港正金銀行司理人謹啟

正金銀行告白

公啟者現因省港各埠時症流行各梓里或患
病欲回家者諸多不便是以同人特設醫船一
大艘在于前山白墳土海面住劄另設駁艇三
只每日到澳門專候省港輪船到步接應病人
渡載至前山白墳土醫船調治或自願回家均
從其便該醫船贈醫侍役一切妥當週全本堂
駁艇懸前山福善堂旗號船到步時一望可
見及有召招呼也現擇于閏四月十二日開辦
所派出各緣部勸捐該銀兩請交香港中環晉
泰洋貨舖胡海籌翁收理便安特此佈聞
光緒卅二年 閏四月初十日
香邑前山福善堂啟謹

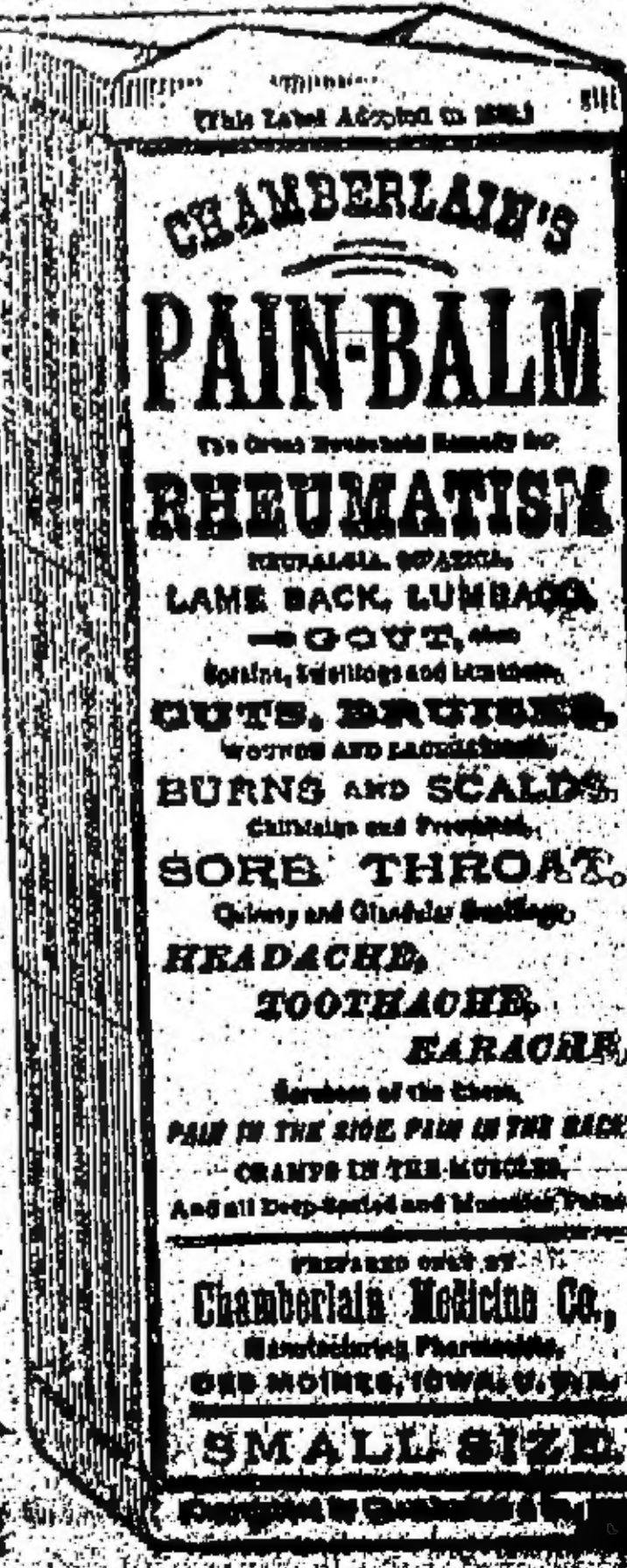
方便病人

萬耀榮
新到天下第一
壹家打雪桶
大細地毯福
州漆烟具箱
新欵鐵床洋
貨傢私發客
價甚相宜
舖在中環大
道六十八號
丙午年 閏四月
初八日
萬耀榮傢私號啟

會館廉止痛藥

CHAMBERLAIN'S PAIN BALM

方 醫 胸 以 部 刀 者
 便 治 腔 擦 各 傷 一
 各 家 如 患 痛 切
 處 皆 有 處 亦 貼 痛
 藥 宜 痛 即 藥 證
 房 購 苦 能 到 愈
 皆 置 及 奏 回 頭
 有 一 風 效 春 痛
 寄 罇 濕 至 腰 牙
 售 罇 等 於 骨 痛
 以 亦 兩 骨 及
 能 能 骨 刺 面



承股告白

別痛證皆能合用凡跌打
 一貼即愈頭痛牙痛及面
 痛亦藥到回春腰痛骨刺
 思慮即能奏效至於兩脅
 如有痛苦及風濕等亦能
 各家皆宜購置一試以
 各處藥房皆有寄售
 價銀一元小樽價銀半

麵粉發客

西營盤大馬路二百九十五號開正記呂宋烟店原日開卓雲曾勉卿梁慧騰鄧景洲等德堂開采臣台股同做今此六股東俱皆志別業自願各將名下所沽之股份變行頂與余成堂承受准於五月初四日交易仍用開正記招牌以前所有租賬按揭會借担保及一切兩交手等項俱歸舊人經手支理與承受人無涉日後生意盈虧亦與舊人無干此佈

光緒卅二年 閏四月 廿八日 合成堂啟

香港中華匯豐銀行

代理常有大批貨由英國廠來 貴客光顧
 祈到洛士利洋行採買可也
 各 嚶 列 下
 羊頭嚶 燕鷄嚶 英皇嚶
 紅鶴嚶 鶯哥嚶 飛龍嚶
 丙午年 閏四月 廿二日
 英商機利士比麵粉公司謹啟

實備資本式百肆拾貳萬七千壹百捌拾員
 餘餘項三拾萬零貳千捌百貳拾員
 樓在香港 分校行與代理遍滿天下
 專辦一切銀行 匯兌 生意按日與長
 項利息列左
 十二個月週息伍厘 六個月週息四厘
 三個月週息三厘 按日計息
 兼特設華字附銀取銀兩均照華商
 取費用又設一精聚處凡銀員以上者均可
 入格日綜計以週息三厘計算息銀半年計
 大 一千九百零六年 三月 大號

論說

論日礦務

歐戰後老劍

泰西各國視礦為利源國之富強始以煤鐵
對日礦務以自有地利而不知開採乃安子
窮獨也然吾華開礦之舉歷代皆有成法若周
禮獨先著為經周禮升人掌金玉錫石之地注
云斗之言礦也又曰以時取之其地而之
巡其禁令之為後世所仿而行之者也
考一山有礦千山有引習於礦學者登山望氣
辨引觀苗即知其地力之盈虛與夫礦產之強
弱矣
大抵寰球之內其地可聚千人者即有可活數
千人之利可聚百人者即有可活數百人利
至其開而能成而能入實不易多得故向來
歐戰後之理以修德之法或拉龍扯水或旁路
抄尖經之營之而便閉者轉與弱者轉強惟實
難得其人耳所謂人事居其半而天事亦居其
半也
查礦之引猶泉之有脈引之初見者謂之子
引漸而得正引乃可探山尋礦礦形成片者
謂之副礦礦成層者謂之堂由成副而堂始
為旺礦若土石夾雜者謂之雜礦此等必至旋
開旋廢或下開上壓者謂之蓋礦倘非至佳之
品即以銀礦而論銀礦惟炸礦為上以其塊頭
淨潔出銀多而色高然礦中似此之礦百不
得一其習見者名為大花銀礦又有細花銀
礦其實皆鉛礦也鉛礦百斤煎鉛而得其半即
為佳礦而好鉛十斤入爐煎其半上者可得銀
六七錢次者則僅得銀一錢或三四錢而已
其裏出鉛汁者名為鉛團鉛團灰內者謂之底
母皆可煉成黑鉛黑鉛一項獲利雖微然以之
製造錫箔或炒鍊黃丹顏料所用亦廣非僅
為製造鉛彈之需也凡此之礦山脈高厚往
訪者必須詳細先審山形厚地脈堅結草皮
繁盛其引一露即可沿脈以尋苗其探礦有苗
之地即力求獲礦有礦即務便成堂此周禮之
所謂物其地而後取之以上所言蓋未嘗不是
也
(未完)

羊城日聞

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

○政治界表憤憤之可怪 (羊城訪函)

啟者本輪船嗣後每逢禮拜日照常日晨早七點半鐘開行往澳下午除水旬改期外兩點半

西餐廳廂房每位收銀二元
西餐廳每位收銀一元
尾樓每位收銀四毫
大廳每位收銀二毫
西曆五月 初一日
三宏公司謹啟

啟者本公司廣東廣州船由五月初二日起自
後來往港澳照下列價目收取此佈
開手六下午六點鐘由港往澳

○廣州船逢
禮拜日上午十點鐘由澳返港
頭等西式房每位收銀二元來回票三元正
西式大餐樓每位收銀一元五毫來回票二元
舊式大餐樓每位收銀一元來回票一元五毫
尾樓 每位收銀五毫來回票八毫
大艙 每位收銀二毫正
禮拜早八點鐘由港往澳

大船	每位收銀二臺正
尾樓	每位收銀四臺來同票六臺正
唐式大餐廳	每位收銀八臺來同票一元五毫
西式大餐廳	每位收銀一元來同票二元正
頭等西式房	每位收銀二元來同票三元正
○廣東船逢禮拜晚六點半鐘由澳返港	

丙午年 五月初一日 元安輪船公司謹啟

啟者泰來棧利記生意原日係陸瑞隆陸安
仕南譚祐南等合股全做今蘇譚二人志圖
退股將二人應已名下所佔之股份頂與

光緒卅二年 閏四月 初十日

啓者本行設在香港中環德輔

AM
T. &
即屈臣氏新行樓上專辦各國
等船同滋錫大小機器諸色

條私玻璃磁器洋衣正頭笠衫

凡什物漆油顏料大小玩物各

洋貨俱全價甚相宜
備以便貴商隨時到看

賜顧不勝厚幸
丙午年 四月初五日

香港英商吉星洋行

期 船 澳 往 日 拜 禮

香山輪船目本月廿六日將禮拜日
時期更正口駛港澳以便中外士商
之搭船泊中環得咸利士碼頭場
顧者請移玉至餘日一律仍舊此佈
茲將船期客附列左
逢禮拜六晚七點鐘由澳來港
逢禮拜日晚九點鐘往澳
下午四點鐘返港
即晚八點鐘往澳
大發棧收銀二元 來同三元
樓下收銀壹元 來同一元半
樓下收銀二毫
除禮拜日外泊回本公司碼頭
船期客位俱舊照舊
丙午年 閏四月 廿一日

觀客

火船
直往
秘魯

--	--

客脚大減價

啓者本公司 日本丸輪船 准開閏五月初
多力輪船 五月初

日正午啟行所有載往秘魯架刺之
之客船脚額外減下每位取英銀十
元如有客欲往該埠請早日到本公
辦房定貨以免額滿見却爲要特此
聞

丙午年 四月初七日 花旗公司

街

號一百八十七號陳京里一號二號三號
 片公司煮烟局後便前日利行車仔公司
 一連大同三層樓地下約道一岡有間半
 集本樓陣額外區園瓦面砌塔磚晒書
 天聚成背山面水最致宜入門扇窓口通
 亮恐合衛生機宜准予四月初一日出租
 相宜合意者請到道前街市對面九
 號嘉士敦內與譚翊儒面商或問收租人
 亦可另有律打上下街吉棧出賃
 光緒三十二年 三月二十日 譚翊

CAL. B. K., MACGREGOR & CO.

至今垂數十年來專辦各國洋酒
 其未之香純貨之真實久蒙仕
 商稱賞近日消場愈廣中西推許
 遐邇馳名如本港 潮白及等各
 國軍兵房各國總到港所需之
 酒皆來本號採買即前大英國康
 諾公爵幸港各
 華商在高陞戲
 園遊宴所需之
 之品亦本號供
 給本港中國富商皆用本號之酒
 總之價廉貨美與別家不同亦無
 庸絮述倘諸君賜顧祈移玉至本
 環大馬路門牌十五號本行面商
 便妥
 廣和洋行謹啟

由港啟程往墨國市麟打古魯

主應打蛇
無微不至或有抱恙之鄉親觀其心細審
不時起沉痾慈念之心現于形色弟等感
深用誌數言以表盛德
額三十二年 閏四月初九日
李柏 黃昇優 劉菊標
列治 周道瑞 譚富遠
鄺敬文 周色德 余運和 等
鄺敬文 陳允良 趙毓港

者本公司 連諾士 火船自舊歲至今
三水前往秘魯介邱埠俱是直往直返無
及中途壅滯延閣之苦且行船快捷

寶酒福食鹽足茶水週到諸皆順利早已
 人口故蒙 客均喜搭斯船也 今本公
 利便親親起見第國水船准以六月初八
 開行直往 秘魯 介邱卑 水脚箱
 道招待加意優厚如 貴客有意搭船前
 畢者合此船之外斷無如是相宜務祈早
 來港定寫客位以免臨時額滿見遺是荷
 (定寫船位處香港)

廣昌和 廣昌和 永春榮 厚昌隆 寶隆
 榮棧 寶典昌 德逢源 保生堂 正合
 三月廿三日 香港利濟公司謹啟

西法鑲牙

牙患經多人代鑲俱欠精良惟蒙
先生再鑲儼若生成況價廉術美牙
科之聖手也弟感佩莫名願頌敬
刊登報端聊當鳴謝俾牙患者知
教於先生也敬叩 台安

館設在中環大馬路五十一號二
樓華商會所對面 二三旦西

一千九百零五年 六月廿四號

香港屈臣氏大藥房前麥士路肥澤

10

風藥酒

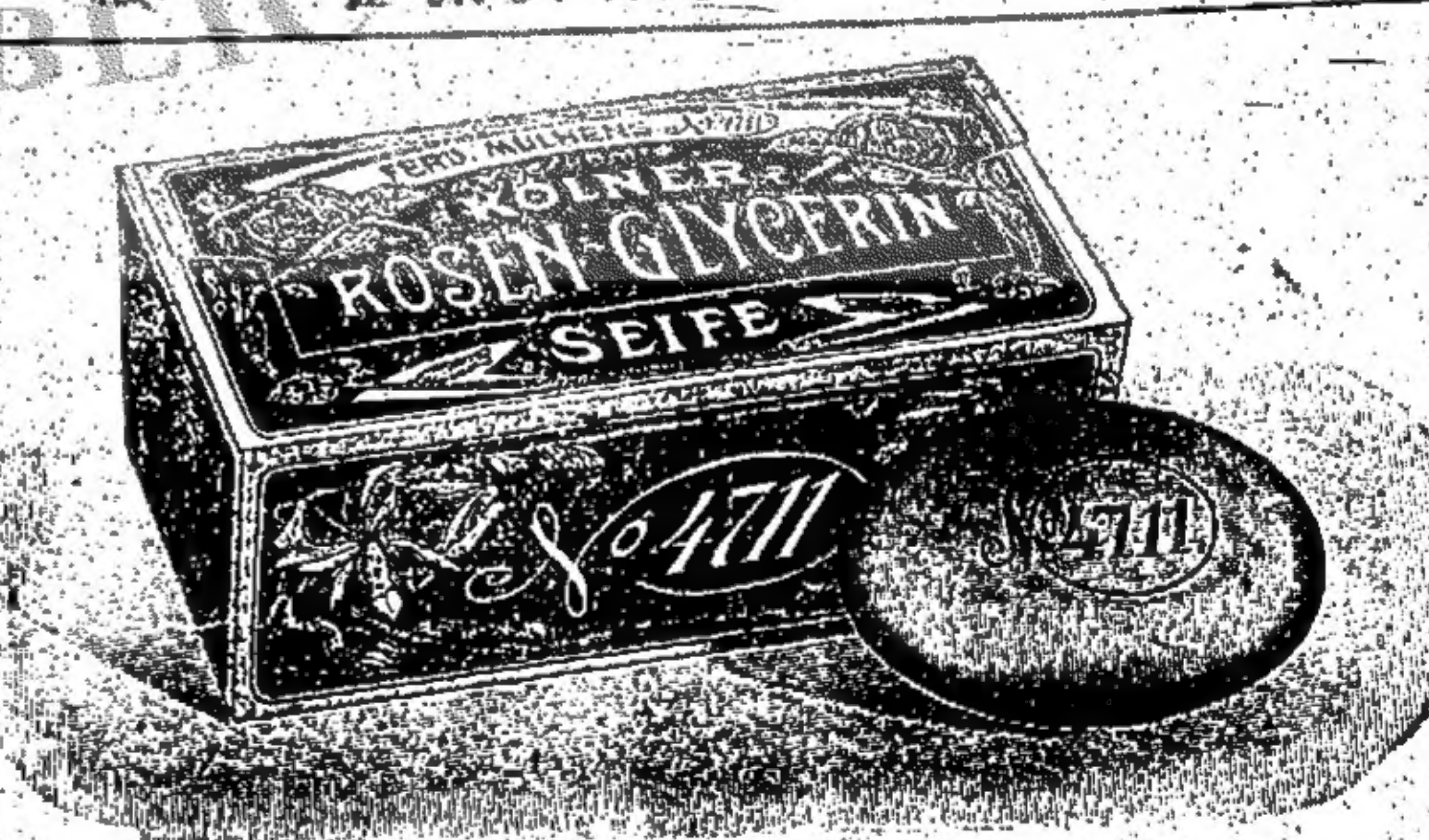


藥舖宜
平放切
勿傾倒

此酒自開張以來，蒙各界人士，無不稱讚，其味清香，其色鮮明，其效神速，其功甚偉，凡有病者，飲之立見奇效，無病者，飲之亦能強身健體，誠為居家旅行必備之良藥也。

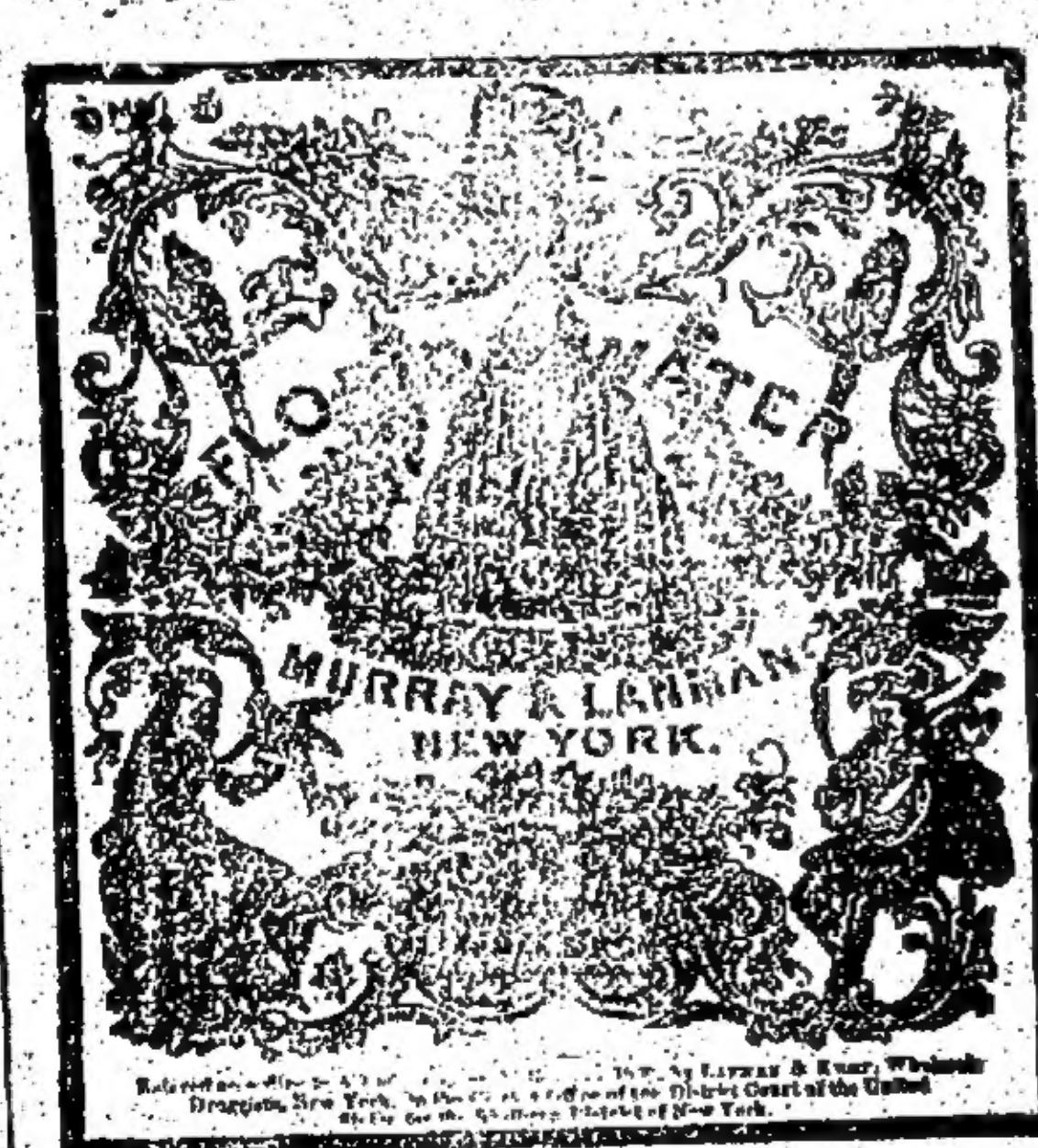
第一百四十七一百四十八號一百

牌九號廣發興礦店租
緒三十二年 正月初五日 廣發興



啓者本醫生專通大小內外方脈診察脫牙
編科月經失調子宮欠和胎產後生等症專
現寓滬文武廟後便街同祥樓街第二號專
應召不拘早晚均可到本醫室掛號依時診治
特此佈聞
三月廿五日
醫生林振氏啓

—



品花露水藥材久馳名已久其氣味
之馨香其功效之應驗久為士商
共賞無庸贅贅茲查有無恥之徒
屢以假貨冒沖故特將真貨之
招牌紙款式刷印報紙俾
有所分辨真假凡買發客貨宜
向諸士洋行採辦甚至零買亦宜
向殷實可靠之店選擇庶不致
誤買者所惠該香水祇係吻吻士
洋行代遞餘無別家所知知之

光緒三十三年
丙午年
初五日

香港華字日報附張

大英一千九百零六年
六月廿六號
禮拜六

往上海日本各埠輪船公司

華等打拿周宋呂大國各洲歐往客搭載接
埠內各洲美北南及哥西麥往客搭載接又
駁轉車火由即接相車火有知

○蒙古 准五月初五日開行
○多力 准五月初五日開行
○滿洲 准五月初五日開行
○高麗 准五月初五日開行
○四伯利 准五月初五日開行
○東洋汽船公司輪船開行日期
○亞米利加 准五月初五日開行
○日本丸 准五月初五日開行
○香港丸 准五月初五日開行

大商船公司

華上海各埠及西國各埠往來客貨船

往汕頭廈門福州上海
○泰山 准五月初九日開行
○蘇州丸 准五月初九日開行
○左仙丸 准五月初十日開行
○大義丸 准五月初十日開行
○舞鶴丸 准五月初十日開行

啟者本號代理捷成洋行堅固快捷火輪船名
○亞美利加 准五月初二日下午開行
○亞美利加 准五月初二日下午開行
○亞美利加 准五月初二日下午開行
○亞美利加 准五月初二日下午開行
○亞美利加 准五月初二日下午開行
○亞美利加 准五月初二日下午開行
○亞美利加 准五月初二日下午開行
○亞美利加 准五月初二日下午開行

管箕灣 演戲

初二日演
○正本 騰脂井
○出頭 借箭為媒
○成套 轉少年
○古尾 封官
○夜板 位收銀
○日板 位收銀
○夜板 位收銀

和發洋行

本號自辦外國各埠
○德商 德商
○德商 德商
○德商 德商
○德商 德商
○德商 德商
○德商 德商
○德商 德商
○德商 德商

新到臭丸

啟者目下天時正各病傳染此等臭丸
○臭丸 臭丸
○臭丸 臭丸
○臭丸 臭丸
○臭丸 臭丸
○臭丸 臭丸
○臭丸 臭丸
○臭丸 臭丸
○臭丸 臭丸

接承

啟者本號接承
○接承 接承
○接承 接承
○接承 接承
○接承 接承
○接承 接承
○接承 接承
○接承 接承
○接承 接承

往日本各埠輪船公司

華等打拿周宋呂大國各洲歐往客搭載接

○日本丸 准五月初五日開行
○香港丸 准五月初五日開行
○亞米利加 准五月初五日開行
○東洋汽船公司輪船開行日期
○蒙古 准五月初五日開行
○多力 准五月初五日開行
○滿洲 准五月初五日開行
○高麗 准五月初五日開行
○四伯利 准五月初五日開行

啟者本公司有堅固快捷火輪船名
○金山 准五月初二日開行
○信濃丸 准五月初二日開行
○因幡丸 准五月初二日開行
○若狹丸 准五月初二日開行
○土佐丸 准五月初二日開行
○若狹丸 准五月初二日開行
○土佐丸 准五月初二日開行
○若狹丸 准五月初二日開行

往日本各埠輪船公司

○日本丸 准五月初五日開行
○香港丸 准五月初五日開行
○亞米利加 准五月初五日開行
○東洋汽船公司輪船開行日期
○蒙古 准五月初五日開行
○多力 准五月初五日開行
○滿洲 准五月初五日開行
○高麗 准五月初五日開行
○四伯利 准五月初五日開行

往日本各埠輪船公司

華等打拿周宋呂大國各洲歐往客搭載接

○日本丸 准五月初五日開行
○香港丸 准五月初五日開行
○亞米利加 准五月初五日開行
○東洋汽船公司輪船開行日期
○蒙古 准五月初五日開行
○多力 准五月初五日開行
○滿洲 准五月初五日開行
○高麗 准五月初五日開行
○四伯利 准五月初五日開行

往日本各埠輪船公司

華等打拿周宋呂大國各洲歐往客搭載接

○日本丸 准五月初五日開行
○香港丸 准五月初五日開行
○亞米利加 准五月初五日開行
○東洋汽船公司輪船開行日期
○蒙古 准五月初五日開行
○多力 准五月初五日開行
○滿洲 准五月初五日開行
○高麗 准五月初五日開行
○四伯利 准五月初五日開行

往日本各埠輪船公司

華等打拿周宋呂大國各洲歐往客搭載接

○日本丸 准五月初五日開行
○香港丸 准五月初五日開行
○亞米利加 准五月初五日開行
○東洋汽船公司輪船開行日期
○蒙古 准五月初五日開行
○多力 准五月初五日開行
○滿洲 准五月初五日開行
○高麗 准五月初五日開行
○四伯利 准五月初五日開行

往日本各埠輪船公司

華等打拿周宋呂大國各洲歐往客搭載接

○日本丸 准五月初五日開行
○香港丸 准五月初五日開行
○亞米利加 准五月初五日開行
○東洋汽船公司輪船開行日期
○蒙古 准五月初五日開行
○多力 准五月初五日開行
○滿洲 准五月初五日開行
○高麗 准五月初五日開行
○四伯利 准五月初五日開行

丙午年
五 月
初 二 日
附 錄

先生往往入張大隱先生醫術妙手回春衛神
刀圭不爾奏技書然久已傳稱香江名馳海
外矣呼先生者無論識與不識皆稱爲生華
佗惜呼先生不敢自矜隱秘獨深術希庶
獨自自謂不如古人謙德也今願恩惠諸如
技如瘡眼食俱屬蒙先生湯石畧施內外兼
治不越旬日病已霍然自愧無以報先生德
意大弗謹敬告同聲俾知所趨向云爾
丙子年二月十一日 弟黃棟芳拜啟

生老 華陀 張大 鵬擲
包醫雜症 日金愈 止白濁 疳疔 消芒果 愈骨痛 醫痔瘡 留痔瘡

此二詩何惟重乃爾也

邱仲闕

關和余論詩二律云曠代元音未寂寥羽毛
見起雲霄慢亭絲管千峯月珠海旌旗五夜
滋國英容頻入夢小山叢桂倘相招論詩自
懷人句風雨荒離意更遙落英雄並世難
原旗鼓付詩壇泰山在望吾終仰滄海橫流
與安鵬隱故巢留客拜鶴歸華表話年寒東
吹阿才人夢銀燭青尊把劍看

益

歐洲拾錦

一噸重海水內有一足連重金即一厘七絲
上最老之樹生產於非洲名保巴士樹聞

心靈室譯

聞

同上

山旬電氣公司主人
 力是電帶一具此常專
 症及歐美衛生療病之
 製造精巧於日驗現向
 法試用果有效驗現向
 當照緣專此布復謹頌
 山旬電氣公司主人
 力是電帶一具此常專
 症及歐美衛生療病之
 製造精巧於日驗現向
 法試用果有效驗現向
 當照緣專此布復謹頌

○本公司早九點開門至下午五點半止如欲
實臨 倘附絨來請寫明姓氏里居爲要
○倘因取新書請聲明得閱此報

光緒三十一年 臘月一 廿九

香港中環皇后大道大鐘樓對門門牌廿四號角頭二三
山句電線公司謹

（） 爲設廣東省城大新街中藥門牌第一百七十八號
省城分局電話第二百

省港禪馬百良馳名膏丹丸散店
新設在香港上環大馬路三百一
拾號門牌
馳名百勝珍珠散 萬應如意油

香港禪馬口良馳名膏丹丸散店
新設在香港上環大馬路三百一
拾號門牌
馳名百勝珍珠散 萬應如意油
○其餘尚有 一百餘種另有價目在門首派送茲不備錄
光緒三十年 九月初三日 星百良香港禪馬口良馳名膏丹丸散店

齋所記之博鑑山尤有準也

何潤光
西法鑲牙



啟者弟由外國回
數載現遷往威靈
街三十七號號芳
白製牙粉小兒洗
粉專用西法鑲牙
貴客賜教請移玉

方里至二十八萬三千方里居民加多十兆
波斯人識英文者每萬有四千零七十五人印
人每千僅六十四人

測候花 水仙庵雜誌

香山黃君國英邃於化學其新發明之測候花
陰晴風雨不爽毫忽風雨作澹紅色陰作紫色

有一樹已歷五千七百年
西人創造一物能有裨益者呈本國政府核驗
屬實乃准註冊予以專權比國限二十年英國
十四年
法國海陸軍經費與德國比較每年多耗二百
萬磅總計每年軍費須四十五兆磅
地球上燈塔共有三千三百五十座美國佔六
百餘座
英國有巨富翁十九名約計每人每年入息十
萬磅
步兵與炮兵只可距一千二百至一千四百碼
通用眼力能分辨

白告司公梳燕仁於素孖今商英

萬萬員每年入息三千萬員專保火險
洋面颶風及意外焚保家各等無不
意外之虞賠償公道久為中外見信
蒙賜顧請到必打街柯參路萬臣四號
本公司辦房與陳少卿面商或到直屬
大道中第三百二十一號二樓本公司
分局與陳煜南並聚進三兩位面議
地則由代理人代辦或直在港投保均
可通融仰祈留意為禱
茲將代理人列左 (計開)
省城 河南 沙面魯蘭洋行
佛山 陳村
梧州 都城 肇慶 南寧 天和洋行
三水 德慶 貴縣 貴平
澳門 皇家新街廣聚源
赤坎 社前街南昌
尖沙嘴 伊利近道鴻昌
江門 地差館北街穗源
油門 新轉街萬成
西南 文秀里南昌
甘竹 廣發隆
新昌 長盛街廣發公司
長沙 長興街榮泰
九江 洲旱西街和珍樓
石岐 觀欄大街岐昌

丙午年二月廿四日
 金玆素於仁燕梳分局向請勞日溥司理燕梳
 事務不料于月之初旬去世現請陳煜南並桑
 進三兩位司理分局燕梳事務至日前各
 行店與勞日溥交手各件仰請照常為禱此佈
 光緒卅二年 閏四月 廿九日 二卅二
 承司理命弟陳少卿謹啟

夫醫術固為濟世之術，然非有德有術，不足以任之。本港醫學會，年終戶數繁多，延往理無不穩妥，皆蒙廣實。遇遇識生者，醫家器具定即檢齊，倘有大小無虞，民心本欲濟人，凡求接生，請到荷里活道廿五號三樓。

光緒廿七年 五月廿三日 李朝氏謹啟

考期廣告

招赴北洋西醫學堂肄業，定期五月初二日下午兩點鐘，在中環大馬路華商會所三樓考試。凡已報名者，屆期自携西筆墨應考，幸勿誤。此次學堂大為擴充，改良有志之士，幸勿疑視，尙可報名投考。特此佈聞。

丙午年 閏四月 廿五日

徐善亭發明牙科衛生

西氏牙粉

西氏牙痛藥水

西氏牙痛藥水

西氏牙膏

贈送 如有欲取閱此書者請修條字加蓋圖章到本醫館取閱

啓者合和公司代理漢陽鐵政局上等生鐵以
便各埠客商採辦此鐵性質軟而有力鎔化鐵
水青鐵極小能煅火凡鑄大小機器以及

欄于花卉大小物件比之外洋生鐵更勝殊多
各客用過無不稱美價值相宜諸君光顧請到
○港中環德輔道八十號洪昌雜貨店內
合和公司商酌
○省城河南金花廟口和昌輪船雜項店
商酌便妥
光緒三十二年 二月 廿一日
代理漢陽鐵政局王顯臣謹啟

初學英語新書二種

注以華字譯以華音最易明也
五仙英語易讀一書風行海內早經沽楚鼓
重加增訂用西紙刊印最便於學英語習英
者每卒取價壹圓其中所用平上去入並夾
所切之聲俱與英學吻合且讀法一一備詳
欲得善師者求通其語者將此書閱之一目
了然初學之梯枕也
（代賣處）聚珍書樓 聚文閣 萬卷

省皇后大道西門牌五十二號游路
生意開創已久向蒙各號相信揭供

目等項一概找結清楚自後概不與人担保
情如有附項担保等情必要弟親手簽字方
實據否則爲經手是問特此聲明以免後論
光緒三十二年 閏四月 廿九日 三卅
源隆棧主人陳雲繡謹

本公司創設在香港中環大馬路水車館右側第七間門牌一百六十三號專辦各國新式洋貨如英國毛氈氈毯色珠被襪絨被男女銅磁手巾線襪笠衫香水香靚膠鞋膠靴各款蠟中箱菓餅手袋所有男女日用各物一概俱全均由名埠親自選辦務以貨真而價不二確乎童叟無欺踴躍均全一體如蒙 貴客光顧請認門牌地步或寄銀取貨亦必格外揀選上等禮貨休期安耐無悞也
乙巳年十月十一日 真光公司啟

啓者本號創精製萬應普救丸并選料各項
丸散藥油發售叨蒙 紳商賜顧中外馳名
夫分校別店近有無恥之徒假冒發售南招
牌貨式圖偽亂真希圖射利悞 非淺本號特
往港 憲稟准 仙翁煉丹嚙爲記則人不得
冒效倘有冒報與本號窮 官究治經審實
有惡即謝花紅銀壹百大元决不食言 諸尊
光顧請認香港中環士丹利街第十號門牌
黃耀南招牌嚙頭爲記庶不致悞再本號買賣
俱係銀交交易向無按押揭借賒攤担保銀兩
等情倘有誤認爲輕乎人是國相與本號無涉
此佈
萬應普救丸 勝寶女金丹
參茸衛生丸 鹿茸坤丸

源安洋面火燭保險

啟者本公司實備資本銀壹百萬員專保輪船帆船渡船裝載貨物來往中外國各港口岸及保大小輪船開船渡船船壳無洋面意外之虞兼保本港屋宇貨倉傢私貨物等件火燭俾獲安全之惠所有保險規式均照英例辦理滙兌附揭積聚接揭貨倉等統經舉辦章程妥協規矩從良

家製

寧神補腎丸
還魂跌打丸
普救平安油
附子理中丸
烏雞白鳳丸
婦科一達丸
神效痧氣丸
兒科回春丹

參茸種子丸
珠珀生肌膏
六合保和丸
追風蘇合丸
產後烏金丸
兒科回春丹

寄省城源昌寺集學記安南庄代售

光緒卅二年 正月初七日 黃耀南盛記啟

滙兌 富商光顧請至南北行街門牌象
號本公司總局外單洋面保險則由
附揭 各分局及代理諸君接辦上海火險
積聚 剛由上海分局兼理尙冀
垂青是所厚望此佈
按揭 〇上海分局設在上海英界二環
渡門牌壹百九十六號
貨倉 〇漢口分局設在漢口河街門牌
第壹拾伍號
有限 〇星架坡分局設在星架坡中牛
公司 屠門牌五十六號
告白 〇粵東分局設在粵京省城打
街門牌第三號
光緒卅壹年 臘月 十五日

廣 告

敬啟者敝醫院專辦留醫已歷多年茲港澳等處染時症到就醫者猶爲不少敝院悉心調理存活甚衆惟醫術本甚精微時症更易致命欲求一簡便應驗之藥正逼遇其難現敝院醫師考驗得上海拋球場耀華照像店之神功濟世水又名四季保險如意水施之于身體強健真

有藥到回春之效若人身不甚強健則羊城廣芝館之至寶丹施治亦甚見功兩藥歷歷考驗因人施用功效卓著用特表明之俾便邇來之染時症者知所分別按治云耳

光緒卅二年 閏四月初九日 正

粵東城西高輦方便醫院謹啟

告白

退
股
告
白

啟者上環永樂西街門牌一百八十號南生
包生意原日係盧頌恒堂做至光緒卅一年
月自願招入股份是以特招到盧文茂盧英
文敏三人入來股本叶力同做由是年正月
一日起算將招牌舖底行底賬項貨物傢私
盤核算項歸中承受當日其人股本銀交

啓者西營盤大馬路門牌二百九十五號門
記吧晒呂宋煙生意茲各東志圖業已將全盤
項與合成堂承受訂期五月初四日交易自開
正記日前所有欠到各處貨項揭會項及臨
担認等項務於未交易之前必要到來掛號以
便清楚倘過期不到乃係自誤特此聲明以
安

仍用南生字號添多治記二字舖中車宜推
文茂司理但揭借銀兩以及欠到小號賬項
賜舖面給回圖章爲據生意照常貿易自後
意盈缺苦樂均沾特此佈聞
丙午年 閏四月 廿八日 盧慎恒堂謹

光緒三十二年 閏四月 吉日 十國
曾勉卿 關朝端即采
開卓雲 厚德堂 全
梁懸腦 鄧景舟

分設代理告白

啟者本公司創自上海專做火燭洋面保險等
 備資本銀壹百萬兩向蒙 商賈賜顧茲特於
 香港加設代理專保各項平安倘遇意外賠償
 快捷所有保險章程俱照英例辦理務臻妥協
 諸君如欲投保請至德輔道中門牌第二
 十八號美記行代理處面商是荷
 光緒三十二年 三月初三日 三十號

源盛公司

啟者本公司司理備資本銀貳百萬兩
 專做運送各處生意兼辦火燭保險等
 各處商口岸輪船裝貨物船上及
 宇做私物無水火意外之虞倘有
 失慎賠償快捷規矩妥當 諸君光
 顧請至文咸街門牌四十八號本
 公司寫字樓投保外埠則由代理人
 接辦仰祈留意不勝厚禱 謹啟
 光緒廿七年 二月 廿一日
 總司理人吳興德啟

福安洋面火燭保險有限公司告白

啟者本公司司理備資本銀壹百萬兩專保各處
 商口岸輪船裝貨本港屋宇傢私貨物無意外
 之虞倘有失慎賠償快捷規矩妥當 諸君光
 顧請至德輔道中門牌第壹百二十三號本公司
 寫字樓是荷此佈
 光緒廿七年 二月初五日
 司理人 吳秀生 陸壽
 余竹生 同啟

雅麗氏接生院醫告白

啟者現有轉接生之華人女士二位常駐本
 院自西歷八月初一日起凡港中貧乏之人等遇
 有生育之事無須力聘人接生者無分順逆俱可
 即到院報知定必親往料理分文不取本院更
 聘有英國女醫生一位從中隨時調照如有
 婦孺產後他病者亦必親臨料理不取分文
 務使貧賤無虞謹此其往此乃本院同人區區
 之意也 一千九百零五年七月 廿一號
 二馬路第八號差館對面 雅麗氏接生院啟

怡記洋貨鐵銅

啟者本號自辦外國各款油漆帆布油繩鋼索
 鐵繩鐵鍊水幫船上車房器具及礦務局製
 局鐵路局物料一切俱全常有各色煤炭 宜
 商賜顧請移玉至中環德輔道門牌七十四號
 面商是荷
 壬寅年 十一月 廿四日 怡記號啟